

▽発信元・お問い合わせ先はこちら  
「人材ビジネスの発展を通じてヒトの成長を追求する」  
株式会社ヒューマンビジネス・コンサルティング

TEL : 03-6909-8644/0120-973-644

E mail:info@hb-consulting.jp

採用内定を得た就活生が減少 企業の慎重な採用姿勢浮き彫りに

1月までに「内々定」を得た就活生の割合が前年に比べて減少していることが、レジェンダ・コーポレーション(東京都新宿区、藤波達雄代表取締役)の調査で明らかになった。景気悪化を受けて、採用活動に慎重な企業の姿が浮き彫りとなっている。

2010年新卒学生を対象に実施した就職活動状況調査によると、1月までに内々定を受けた学生は2.5%で、前年同時期(4.3%)から1.8%減少した。一方、学生の1月までの平均エントリー社数(09年度:57.3社→10年度:62.4社)・1月の平均会社説明会参加社数(09年度:4.54社→10年度:4.99社)・1月の平均面接受験社数(09年度:0.68社→10年度:0.75社)は、いずれも前年に比べて増加している。

採用内定に関しては日本経団連が定めた倫理憲章で、4月1日以前の選考・内定出しを自粛するように促しているが、一人でも多くの優秀な学生を囲い込もうと早期に内定を出す企業があとを絶たない。しかし、今回の調査では、この時期に内定を出す企業が減少していることから、採用意欲が旺盛だった企業も、今年度は慎重な姿勢で採用に臨んでいることが分かる。

一方で学生は、新卒採用数を抑制する企業が増える中で、少しでも自分に合った企業を見定めようと、積極的に就職活動に取り組んでいるようだ。

同調査は、1月26日～31日にかけて、9634人を対象に実施。1123人から回答を得た。

(2009年2月19日 キャリアニュースサイト Carrera)